

道産ロケットの 現状と未来語る

北大学院
永田教授

【大樹】町小中学校教育研
究大会(同教育推進会主催)
が20日、大樹中学校(我妻薫



講演でカムイロケットの意
義などを語る永田さん

校長、生徒157人で開か
れた。町内外の小・中学校の
教職員ら約70人が授業を見学
したほか、講演を聞き、知識
を増やした。

学校教育の課題を探り、研
究方法と実践の過程を明確に
することなどを目的に、毎年
持ち回りで開いている。

講演では、北大学院教授
で、道産小型ハイブリッドロ
ケット「CAMUI(カム
イ)」の開発に携わる永田晴
紀さんが「道産ロケットカム
イの今と未来」をテーマに話
した。同ロケットは2002
年から数回、大樹で打ち上げ
実験が行われている。

永田さんは「宇宙産業とし
て民間企業がもっと参入する
ためには、小規模のミッショ
ンで、打ち上げコストも下げ
る必要がある」と指摘。「カ
ムイロケットは火薬を使用せ
ず、プラスチックなどの固体
燃料と液体酸化剤を組み合わ
せたもの。安価で小型化が可
能」と意義を説明した。

講演に先立ち、公開授
業や、同校の研究テーマ
「自ら学び、積極的に他
者にかかわろうとする生
徒の育成」の概要を発表
した全体会などが行われ
た。

(北雅貴)